

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表： 2023年 2月 20日

事業所名：わくわくクラブ 千里丘校

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	2	0	・パーティション等を活用し環境設定を行っている ・安全な環境を設定	・引き続き実施していく
	2	職員の配置数は適切である	8	0	0	・配置数を確認するツールを導入している	・引き続き使用していく
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	3	0	・子どもに合わせた配慮を行っている	・引き続きわかりやすい環境設定を目指していく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8	0	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1	0	・結果をホームページで公表している	・より広く認識され確認してもらえるよう周知に努める
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	2	0	・巡回指導を受け外部からの意見も取り入れている	・第三者評価に関しては今後の検討課題としていく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	0	・様々な研修を受ける機会を設けている	・引き続き職員の資質向上を図るため定期的の実施していく
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1	1	・その都度情報共有は行っている	・今後標準化をしていけるよう検討していく
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	0		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	0	・姉妹校と情報共有を行いマンネリ化を防止	・今後も様々なアイデアを出し合いながら決定していく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1	0	・その時に応じて設定し支援している	・引き続き継続して行う
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	0	・毎日定例で実施	・引き続き継続していく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1	0	・毎日定例で実施 ・記録に残し全員で共有出来るよう工夫	・引き続き継続していく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	1	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7	1	0		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	0		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6	2	0	・必要に応じて行っている	・継続して対応していく ・行事の把握等今後視野に入れ情報共有出来るよう努める
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	1	2	・現状受け入れなし	・今後こういったケースに備えて環境を整える
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	0	0	・保護者の要望により実施する場合もある	・引き続き対応していけるよう努める
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	2	1	・現状対象者なし	・今後こういったケースに備えて環境を整える
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	0	0	・専門機関との連携は積極的に実施している	・引き続き連携を深めていけるよう努める
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	4	4	・コロナ禍のため自粛中	・コロナ収束後は交流の機会を設けていきたい
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	4	2	2	・機会があれば積極的に参加している	・引き続き継続していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	0	・こちらから声かけしていくよう配慮している	・引き続き継続していく
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	2	2		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3	2	・コロナ禍のため自粛中	・コロナ収束後は交流の機会を設けていきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	0	・日々保護者とのコミュニケーションを丁寧に取るよう心がけている	・引き続き継続し、共通理解を深めていけるよう努める
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1	0	・HUGシステムやメールにて伝えている ・イベントカレンダーの発行と掲示	・引き続き継続して行う
	35	個人情報に十分注意している	8	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	0	・ゆとり時間を取って対応するよう工夫	・引き続きより意思疎通出来るよう努める
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2	4	・コロナ禍のため自粛中	・コロナ収束後は交流の機会を設けていきたい

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	2	0	・保護者への周知があまり出来ていない	・周知出来る方法を検討し実行していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	1		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	0	・毎年必ず実施している	・引き続き継続して行う
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	0	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1	1	・保護者から聞き取りスタッフへ共有	・指示書がある場合には共有してもらいその内容に沿って対応していく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	2	0	・事例集は作っていない	・まずは日々のヒヤリハットをしっかりと記録し残していく